

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-110402(P2010-110402A)

【公開日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2008-284034(P2008-284034)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月29日(2011.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動口への遊技球の入球により実行条件が成立した後、開始条件の成立に基づいて識別情報の可変表示を行い、遊技者に有利な特別遊技状態を実行するか否かを示す導出結果を表示する遊技機であって、

遊技の進行を制御する主制御装置と、該主制御装置から送信されるコマンドを基に、識別情報の表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御装置と、を備え、

前記主制御装置は、

前記実行条件が成立しているものの前記開始条件が成立していない前記実行条件の成立数を、所定の上限値まで特定可能な保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、

記憶した保留記憶数を保留球数指示信号として前記演出制御装置に送信する保留記憶数送信手段と、

前記実行条件の成立時に、前記識別情報の可変表示の内容及び／または表示結果の決定に係る判定を行う実行条件成立時判定手段と、該実行条件成立時判定手段の判定を基に予告の実行を許可する予告許可信号を前記演出制御装置に送信する予告許可手段と、を含み、

前記演出制御装置は、

前記主制御装置から受信した、前記保留球数指示信号を基に保留記憶表示を行う保留表示制御手段と、

前記予告許可信号を受信した時に予告を行うか否かの判定を行う予告判定手段と、

該予告判定手段により予告を行うと判定した場合、該判定の基となつた前記実行条件の成立を示す保留記憶表示の態様を保留予告態様として表示する保留予告態様表示手段と、

該保留予告態様の表示開始から該保留予告態様を示す保留記憶の開始条件成立による可変表示の終了までに保留球数指示信号を受信すると、該保留球数指示信号の受信に応じた保留記憶表示の態様を、保留予告期待度態様として表示する保留予告期待度態様表示手段を含み、

該保留予告期待度態様表示手段は、保留予告態様に係る導出結果の期待度を保留球数指示信号を受信する毎に該期待度を表す内容を段階的に報知する

ことを特徴とする弾球遊技機。

**【請求項 2】**

前記保留予告期待度態様表示手段は、前記保留球数指示信号を所定回数受信したときに前記期待度を表す段階的な報知を完了する

ことを特徴とする請求項 1 記載の弾球遊技機。

**【請求項 3】**

前記保留予告態様を示す保留記憶の開始条件成立による可変表示が終了すると、前記報知を行った前記保留記憶表示の態様を通常の前記保留記憶態様に戻す予告リセット処理を備える

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 2 記載の弾球遊技機。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 記載の弾球遊技機は、

始動口への遊技球の入球により実行条件が成立した後、開始条件の成立に基づいて識別情報の可変表示を行い、遊技者に有利な特別遊技状態を実行するか否かを示す導出結果を表示する遊技機であって、遊技の進行を制御する主制御装置と、該主制御装置から送信されるコマンドを基に、識別情報の表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御装置と、を備え、前記主制御装置は、前記実行条件が成立しているものの前記開始条件が成立していない前記実行条件の成立数を、所定の上限値まで特定可能な保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、記憶した保留記憶数を保留球数指示信号として前記演出制御装置に送信する保留記憶数送信手段と、前記実行条件の成立時に、前記識別情報の可変表示の内容及び／または表示結果の決定に係る判定を行う実行条件成立時判定手段と、該実行条件成立時判定手段の判定を基に予告の実行を許可する予告許可信号を前記演出制御装置に送信する予告許可手段と、を含み、前記演出制御装置は、前記主制御装置から受信した、前記保留球数指示信号を基に保留記憶表示を行う保留表示制御手段と、前記予告許可信号を受信した時に予告を行うか否かの判定を行う予告判定手段と、該予告判定手段により予告を行うと判定した場合、該判定の基となった前記実行条件の成立を示す保留記憶表示の態様を保留予告態様として表示する保留予告態様表示手段と、該保留予告態様の表示開始から該保留予告態様を示す保留記憶の開始条件成立による可変表示の終了までに保留球数指示信号を受信すると、該保留球数指示信号の受信に応じた保留記憶表示の態様を、保留予告期待度態様として表示する保留予告期待度態様表示手段を含み、該保留予告期待度態様表示手段は、保留予告態様に係る導出結果の期待度を保留球数指示信号を受信する毎に該期待度を表す内容を段階的に報知することを特徴とする弾球遊技機である。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項2記載の弾球遊技機は、前記保留予告期待度態様表示手段は、前記保留球数指示信号を所定回数受信したときに前記期待度を表す段階的な報知を完了することを特徴とする請求項1記載の弾球遊技機である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項3記載の弾球遊技機は、前記保留予告態様を示す保留記憶の開始条件成立による可変表示が終了すると、前記報知を行った前記保留記憶表示の態様を通常の前記保留記憶態様に戻す予告リセット処理を備えることを特徴とする請求項1乃至請求項2記載の弾球遊技機である。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項1記載の弾球遊技機によれば、始動口入球時の判定結果を基にした保留記憶表示を用いた予告表示に対して、該予告表示中における始動口への入球が保留予告態様に影響を与えることになるため、大当たり確率の高いと思われる保留記憶表示が行われていても、遊技者は発射操作を中止することなく継続し、稼動数の減少を抑止することが可能となる。また、期待度が段階的に明らかになっていく様子は、遊技者が所謂ステップアップ式の

予告として捉えることが可能であり、従来の遊技機にはない興趣を付加している。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項2記載の弾球遊技機によれば、期待度の報知が完了した時点で遊技者が期待度の内容を認識することが可能となる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項3記載の弾球遊技機によれば、予告リセット処理によって、期待度報知を行った表示中の保留記憶の表示態様を、通常の保留記憶表示態様に戻す処理を行うため、無意味な表示態様を図柄変動終了後に行わない。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

レベル1、2、3は、保留予告態様を表示後に主制御装置50から受信する保留球数指示信号の数、言いかえれば該保留球数指示信号の基となる始動口31（又は普通電動役物）への追加入賞の数に対応しており、1個目の保留球数指示信号の受信による保留球数・予告判定処理時（図6の処理）に決定した予告態様フラグの値によって、2個目3個目の受信時の変化も決定される。またフラグ値がどの値となっても、レベルの上昇（受信数の増加）に伴って、保留予告態様の変化は色、形状、数字と徐々に具体的な期待度が認識可能となるように設定されている。